

## 第3学年総合的な学習の時間学習指導案

単元名 城崎自慢をしよう

- 城崎じまんマップ作りを通して -

### 1. 目標

#### (1) 関心・意欲・態度

- ・より良い地図を作ろうと、自分の課題に対して意欲的に調べようとようとする。

#### (2) 伝え合う力

- ・調べた事をカウンターグループ内や全体場で、分かりやすく発表したり、自分の意見をしっかりと述べたりすることができる。(話す)
- ・級友の発表や地域の方の話を、大事なことを落とさずに聞くことができる。(聞く)
- ・発表の原稿や地図内の言葉や絵等を、よく分かるようにかき表すことができる。(書く)

#### (3) ねらい

- ・課題解決に向けて、取材活動やパソコン等で有用な情報を得ることができる。
- ・調べる方法や手段を見出す等、課題解決に向けて計画を立てることができる。

### 2. 指導計画(全21時間 本時14/21時間)

#### 第一次 「見通す」

第1時・・・地図作りにおいてそのねらいを知り、班を組織し各自が取り組む課題を決める。

第2時・・・カウンターグループ内で、調べる内容をさらに決め、課題解決に向けての計画を立てる。

#### 第二次 「調べる」

第1時～5時・・・それぞれのカウンターグループで、現地に行き取材活動をする。

#### 第三次 「まとめる」

第1時～3時・・・発表に向け、調べたことを文章や絵等に表す。

#### 第四次 「練習する」

第1時～2時・・・報告会に向け、通し練習をする。

#### 第五次 「発表する」

第1時・・・「麦わら細工」 第2時・・・「外湯」(本時) 第3時・・・「温泉寺」

第4時・・・「自然」 第5時・・・「秋祭り」

#### 第六次 「地図を作る」

第1時～4時・・・調べてきたことをもとに、ジグソーグループ毎に、城崎自慢マップ作りをする。

### 3. ICT機器活用 의意図

- ・それぞれカウンターグループ毎に現地取材を行う際、デジカメやビデオカメラ等を用いることにより、しっかりとそれらの内容を記録できると共に、課題解決に対する意欲を高めることができる。
- ・調べてきたことを全体場で報告する際、OHCやプロジェクターを用いることにより、資料をクラス全体に効果的に示すことができる。

#### 4. 本時の学習

##### (1) ねらい

- ・カウンターグループ内で役割を分担しあいながら調べてきたことを聞き手に分かりやすく伝えたり、意見交流を通して意見等をしっかりと述べ合ったりすることができる。(話す)
- ・聞き手側は、発表者の報告の内容を大事なことを落とさずに聞いたり、メモしたりすることができる。(聞く)

##### (2) 展開

段階	学 習 活 動	教師の支援と評価基準		準備物等
つかむ	1 本時の学習課題を知る。 ( 1 ) 前時の学習の様子を振り返る。 ( 2 ) 本時のめあてを知る。 <div>城崎自まんパート2 「外湯」の自まんでできるところって何？</div>	・ 前時の報告は「麦わら細工」であったことを振り返り、その場で出た課題やめあてをおさえ、特に、それぞれのめあてを持って取り組むように促す。 [話し手のきまり] 大きな声でゆっくりと、はっきりと話す 話型を用いる 内容がよくわかるように話す [聞き手のきまり] 話し手を見て、大事なことを落とさずに聞く メモをしっかりととりながら聞く 自分の意見と比べながら聞き、次の発表につなげる		・ 黒板貼付物
ふかめる	2 カウンターグループの一つ「外湯」の報告を聞き、学習を深める。 ( 1 ) 「外湯」の班の報告を一人ずつ行い、その報告についての質問や感想を出し合う。 司会進行児童 1 名 報告者 7 名 《報告者の動き》 報告 ( クイズも含む ) 質問を受けて、それに答える。 級友から感想を聞く。 《報告内容例》 外湯の数 歴史 効能 お湯の量 楽しめる サービス 体が不自由な方にもやさしい 等  ( 2 ) 外湯に関わる方からのお話 ( ビデオ映像 ) を聞き、その問題解決のための方策を話し合う。 《問題》 どうしたら落書きする人を減らせるのか？ ・ ポスター作成 ・ 貼り紙 ・ 疵を付けさせない物品への改善 ・ 自ら注意をする。 ・ 見つけたらすぐ連絡をする ・ 自分たちもしない 等	T 1 ・ 発表班、及び、その他の児童の全体の様子を見て、助言等の支援を行う。 ・ 報告者一人ずつに対するメモを書き入れるワークシートを配布する。  ・ 板書を用い、報告内容を整理する。 ・ 質問に答えられない場合、助言を行う ・ 感想は短文に終わらないよう、理由を添えた感想を述べるように促す。  ・ 画像を利用した説明の中に、多様な意見を出させるための手がかりとなるヒントを提示したい。 ・ 多様な意見が出ないとき、手がかりとなる箇所のビデオ映像を再度提示し、新たな発表のための支援を行う。	T 2 ・ 聞き手にはメモをとらせるが、その活動の児童支援にあたる。 ・ 視聴覚機器使用における支援を行う。  ・ 質問が少ない場合は質問を行い、質問のポイントを例示する。  ・ 視聴覚機器の操作を行う。 ・ ワークシートに書かれた児童の解決策の中に多様な考えが出されている児童名を T 1 に報告し、その後の授業の活性化のための情報交換を行う。	( ICT 機器 ) ・ プロジェクター ・ O H C ・ パソコン ・ スクリーン  ・ ワークシート  ・ 黒板貼付物 ・ ワークシート  ・ ビデオカメラ ・ スピーカー
		《評価基準》 ( 話す ) A : 話し手のきまり ( ~ ) をすべて満たしている。 B : 話し手のきまり ( ~ ) をほとんど満たしている。 C : 話し手のきまり ( ~ ) をほとんど満たしていない。		《評価基準》 ( 聞く ) A : 聞き手のきまり ( ~ ) をすべて満たしている。 B : 聞き手のきまり ( ~ ) をほとんど満たしている。 C : 聞き手のきまり ( ~ ) をほとんど満たしていない。
		3 本時のまとめをする 1 ) 指導者による本時のまとめを聞く。 2 ) 次時の課題を確認する。		・ 外湯班の児童の頑張りに対し賞賛すると共に、まちの主産業を支える温泉の大切さと他のまちにはない城崎の特長を伝え、そこに生まれ育つ誇りと伝統を受け継ぐ気持ちを持つように促したい。